

配信期間 || 2021年11月26日 金 10:00 — 2022年1月31日 月 17:00まで

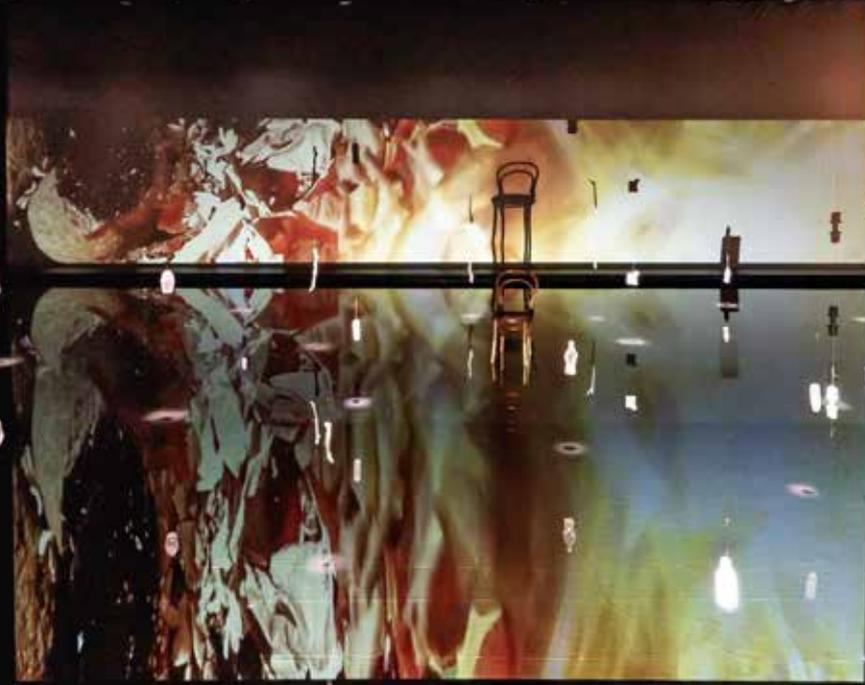
配信URL || <https://www.sapporo-community-plaza.jp/event.php?num=2118>

視聴料金 || 無料



記録映像 期間限定公開

高嶺格 歓迎されざる者 北海道バージョン



高嶺格

1968年鹿角島生まれ。社会の中で見えなくなっている問題を、自身の個人的体験や身体的感覚に引きつけて批評的かつアイロニカルに可視化し、映像、インスタレーション、彫刻パフォーマンス、舞台の演出など、多彩な表現形態による作品を発表している。近年の主な個展に「とくよくみえない」

(横浜美術館 神奈川 / 広島市現代美術館 広島 / 霧島アートの森 鹿児島 / KON Gallery パーミンガム UK, 2011 - 2012年)、「高嶺格のクールジャパン」(水戸芸術館 現代美術ギャラリー、茨城, 2012年)、「Japan Syndrome - Utrecht Version」(CASCO、ユトレヒト、オランダ, 2013年など)。

2021年8月、クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ)で開催された展覧会「高嶺格『歓迎されざる者〜北海道バージョン』」の記録映像を期間限定で公開します。

本作は、2018年に京都で発表された『歓迎されざる者』を、北海道バージョンとして再構築した作品です。会場の真ん中で朗読を続ける人物、その周りで静かに昇降するオブジェ。朗読者の体のかすかな揺らぎが、水を張った床面に波紋をつくりだしています。読み上げられる詩や短歌、テキストは、北海道の近代詩を中心に選ばれた38編。さまざまな時代、それぞれの状況に向き合いながら繊細に紡がれた言葉によって、この地に積み重なった時間や風景、人々の暮らしや感情が浮かび上がり、観客は静かに向き合うことになります。朗読に耳を傾けながら場内を進んでいくと、そこには膨張し収縮する巨大なオブジェの影や、ビニールシートに描かれた文字と細い通路が現れます。読み上げられた言葉と、声として発せられなかった言葉、そしてその先に二重三重に重ね書きされた言葉は、私たちに何を問いかけるのでしょうか。

記録映像では、作品内で朗読された38編の詩や短歌、テキストを全て収録しています。また、会場奥の様子なども含め、本作の全体を捉えることができます。ぜひご視聴ください。



photo: kenza kenjige